

ちの

市議会だより

令和6年9月定例会
(決算議会)

第51号

2024.12.1



泉野小6年生 茅野市議会訪問 こども議会開催!

7ページに関連記事



もくじ

- | | | |
|----------------|-----------------|-------------------|
| ▶ 行政視察報告……………2 | ▶ 議案の審査結果……………5 | ▶ 議会トピックス・請願・陳情…7 |
| ▶ 一般質問通告一覧………8 | ▶ 市民アンケート結果…10 | ▶ 議決結果賛否・次号予告…12 |

令和6年度行政視察報告

市議会では市政の発展と向上のため、委員会ごとに視察目的を定め、先進的な他の自治体等を訪問して研修を受けています。本年は経済建設委員会と福祉教育委員会が7月に、総務環境委員会は11月に視察を行いました。（総務環境委員会につきましては、次号で報告いたします）

経済建設委員会

委員長 佐々木 智子
委員 角 直樹
委員 内 晃之
委員 角 実敏
委員 樋口 勝
委員 伊藤 藤

市側随員 黒澤 俊彦
都市建設部長
議会事務局随員 小平 雅文
主査

7月3日（水）

視察地

愛知県 小牧市

中心市街地にぎわい創出事業について

研修会場 再開発ビル「ラピオ」
研修・視察内容

小牧駅前の再開発ビル「ラピオ」は公共施設と商業施設を配置した複合ビルで、公共施設は「こども未来館」「女性センター」「スポーツ広場」「えほん図書館」「少年センター」「市民交



再開発ビル「ラピオ」を視察

流テラス」などがあり、子育て支援施設を中心に整備されています。また、商業施設としては、食品スーパー、フードコート、生活雑貨などの店舗が出店しています。

当初、再開発ビル「ラピオ」内にはイトーヨーカドーが出店していましたが、平成19年に撤退し、その後も複数の店舗が入れ替わっており、現在は食

品スーパーとなっています。また、テナントの空き床も見受けられ、人口15万人規模の市でも、民間企業がこぞって進出するといった状況ではありませんでした。

しかし、高齢者施設を郊外へ移し、エキナカにこどもの遊び場や若い世代の滞留・交流の場を強化している点など、市民のニーズはしっかり把握されていると感じました。

「茅野市での展開は」

現在の図書館と教育機関をベルビアに移設することや、0123広場の整備をするだけでも（現在の環境では手狭で魅力が足りない）、賑わい・滞留・交流の拠点として再構築できるのではないかと思います。若い世代が集まりやすい用途を整備しないと継続的な展開は難しく、大手デベロッパーだけに依存するのではなく、市民と市で創り上げていくことが持続可能なまちづくりに繋がると感じました。

また、「ラピオ」の床所有は第三セクターと市が所有している点や、ハードの面ばかりではなく、賑わいに繋がるソフトの部分についても市が積極的にルールを敷いて市民を巻き込み、「自分事」として自主的に街の活性化に繋がる活動を行う「コマナカmeet」というプロジェクトを結成した点などは、ベルビアの今後に大いに参考になると感じました。

7月4日（木）

視察地

京都府 亀岡市

①有機米プロジェクトについて
②オーガニックビレッジ宣言について

研修会場 亀岡市役所及び有機米

プロジェクトのほ場
研修・視察内容

亀岡市では「環境にやさしいまち」を市政のコンセプトとし、市長の目玉政策として「オーガニックビレッジ宣言」や「有機米プロジェクト」を展開しています。当面の目標は、学校給食に100%有機米を供給することだそうですが、現在の供給量は20%程度のものでした。

プロジェクトについてはJAと対立することなく、京都府や近隣自治体と協力し、市役所内でも5つの課をまたいで庁内全体で取り組むなど、多方面の協力を仰ぎながら進めている点は参考になりました。有機野菜に関してもあれもこれもと手を広げず、「とりあえず1品でも入れていく」というスタンスに共感を覚えました。

市長のトップダウンで始められた事業ですが、環境の保全や、安心・安全な食糧の生産など、非常に魅力的な取組だと感じました。



「茅野市での展開は」

農業従事者の高齢化を食い止め、若返りを図る手段として、有機農業に対する関心が高い新規就農希望者の受け入れを増やす試みは、有効な農業施策の一つになり得ると感じました。

亀岡市も有機農家は全体の3%と少ないですが、前に進む考え方は見習いたいと思います。有機農業に対して2千700万円の補助を出しているのは、有機農業に対するしっかりとした目標を見据えている証で、市長の意欲を強く感じます。担当者からお話を伺う中で、移住促進と有機農業は親和性が高いとの言葉も大変興味深く感じました。茅野市にはしっかりとした土台があるので、まずは学校給食から始めてみるのはいかがでしょうか。



亀岡市役所での研修

福祉教育委員会

委員長	美和弘文 郎夫
委員	明平泰博 一近
委員	村山 尾田
委員	木向 小長
委員	梯机 小長
委員	上田 佳秋

市側随行者
生涯学習部長 上田 佳秋

議会事務局随行者
主査 渡辺 光子

7月3日(水)

視察地 群馬県 渋川市

フリースペースの開放について

研修会場 渋川市役所

研修・視察の内容

市民の自主学習を応援するために、市有施設の一部を学習フリースペースとして無料開放する事業の採用に至った経緯、利用状況、課題について、茅野市での活用・応用・展開の可能性を探りました。

運営のポイント

- ① 混雑する時間帯は、管理者（シルバー人材センターへ委託）が在席する。
- ② 空き情報を渋川市公式LINEから確認できる。
- ③ 公募により「運営委員」が選定され、利用者の目線で運営が改善されている。

- ④ 学習支援は行なっていない。
- ⑤ 公の施設で有人のため、居場所として安心できる。

場所の選定・確保、人件費、設備投資等、どこまで費用負担が可能か検討を重ねたましたが、自主学習スペース需要（環境改善、意欲上）への対応や、送迎時の渋滞緩和等の面において期待できる事業と判断され、渋川市の事業採用に至りました。



学習フリースペース（渋川市）

「茅野市での展開は」

フリースペースの設置支援だけでなく、運営や民間企業とのアプリ開発まで、利用者と共につくる事業は参考になると感じました。

公民館利用については、子どもたちの居場所として当市の地区こども館事

業に類似していますが、地域の活性化に視点を置けば、今後のまちづくりにおいて、公民館と共にこども館も考えてみてはどうでしょうか。

7月4日(木)

視察地 山形県 高畠町

- ① デュアルスクールについて
- ② 廃校利用、大人の学び舎について

研修会場 高畠町

研修・視察の内容
コワーキングスペース

山形県高畠町は、町の成り立ち、広大な町域・旧町村の地区単位への学校配置、人口減少・少子高齢化をはじめとする地域課題等、当市と類似する点が多く、今後、学校等公共施設について検討を進めていくに当たり、小中学校の統廃合後の取組として高畠町が行っている、廃校を活用した地域振興及び移住交流施策についてを調査してまいりました。

「デュアルスクール」

たかはた未来創生総合戦略に位置付けられた「関係人口づくり」の一環として、デジタル田園都市国家構想交付金を活用し、令和5年度から開始されました。

デュアルスクールとは、「区域外就

学制度」を活用し、都市部等に住民票を置いたまま地方の学校に一定期間通うことのできる制度で、これにより9年連続で高畠町の人口は増加しました。その経緯や子育て政策等について、茅野市の取り組み「若者に選ばれるまち」及び少子化対策に役立てていくため、少人数学級の取組みにおける成果と課題について研修を行いました。



高畠町コワーキングスペースでの研修

「廃校利用大人の学び舎」

高畠町では、人口減少・少子高齢化の進行に伴い、小中学校の統廃合が進められました。1町5村の旧町村を地区単位とし、7小学校、1小学校分校、4中学校を有していましたが、平成22年3月には1小学校、1小学校分校が閉校し、平成28年4月には4中学校が一つに統合されました。地元地区には

廃校活用の方角性が示され、合意に向かう説明会がそれぞれの地区で数回に、延べ1,000回を超えて実施されました。

駅に近い第四中学校の施設利用として、シルバー人材センターの事務所やデマンド交通予約センター、サテライトオフィスや子育て屋内遊戯場として活用され、校庭は宅地分譲として有効に活用されていました。

「茅野市での展開は」

「デュアルスクール」

茅野市は全国でも有数の別荘地を有していることから、別荘所有者の子どもや孫をターゲットとしたデュアルスクールの展開が考えられます。受け入れる学校の児童への好影響等、副次的効果が期待できますが、環境整備が必要だと考えます。教育だけでなく、雇用、医療の一体的な施策の展開も必要となります。

「廃校利用大人の学び舎」

今後茅野市でも、小中学校を含めた公共施設の統廃合の議論が加速していくことが予想されます。高畠町とは町村合併によるまちの成り立ち、公共施設の配置など類似する点も多く、統廃合までの住民合意を含めたプロセスや、廃校利用についてのビジョンの示し方等は参考にしていきたいと思いました。

7月5日(金)

視察地 東京都 八王子市

八王子市生涯学習プランについて

研修会場 八王子市役所
研修・視察の内容

八王子市が取り組む生涯学習は、学びを活かして繋げる28項目の施策を展開し、全てのライフステージにわたる学びの調査、研究を目的としています。



- 1 社会人の学び直しの支援、リカレント教育の取り組みとして大学等と連携し、講座情報は無料アプリ「はちリカ」で取得。
- 2 障がいのある人の生涯にわたる多様な学びの取組みとして、見えに



くくなった方の学習中途失聴難聴者のための手話講習会、健康寿命の延伸につながる市民いきいきリフレッシュ体操、ゆうゆうシニア講座、高齢者施設読書活動支援、高齢者の保健事業と介護予防の一体実施、またボランティア講師による教室を行っています。



八王子市役所での研修

「茅野市での展開は」

茅野市の市民活動と生涯学習の連携で学んだことを、まちづくりに繋げる具体策ができると考えます。公民館などの講座は、「広報ちの」や配布されるチラシなどはアクセス手段が限定的です。アプリや公式LINEでも情報収集の展開も検討できるのではないのでしょうか。

令和 6 年 9 月定例会

令和 5 年度決算 348 億 8 千 818 万 4 千 421 円を認定

茅野市議会 9 月定例会は、8 月 28 日（水）から 9 月 24（火）までの会期で開催されました。

9 月議会は主に前年度の決算が審査・認定されるため「決算議会」と呼ばれており、令和 5 年度決算を 2 日にわたり審査をしたほか、令和 6 年度補正予算、市道の廃止、条例案件、人事案件など 20 議案が審議され、いずれも原案のとおり可決、認定、同意されました。

反対討論

令和 5 年度一般会計の認定には反対。反対の理由として、「のらざあ」の運行エリアについて、行政の施策の公平性の点からも容認できるものではなく、この決算からは、どこを探しても運行エリア外の住民に寄り添った施策が伺えない。また、会計年度任用職員について、特段、待遇の改善が図られていない点を指摘する。

歳入決算額 361 億 3 千 9 百 15 万 2 千 874 円、歳出決算額 348 億 8 千 818 万 4 千 421 円、歳入歳出差引残額 12 億 5 千 96 万 8 千 453 円、翌年度に繰り越すべき財源 1 億 7 千 843 万 5 千円を差し引いた実質収支額は、10 億 7 千 253 万 3 千 453 円。

議案第 69 号
令和 5 年度茅野市一般会計歳入歳出決算の認定について

賛成多数
認

予算決算委員会

（9 月 10 日、12 日、13 日）

委員長 望月 克治

各委員会における 主な議案の審査

そして、観光地の周遊バスの事業のように国の補助金を活用したからといっても、不要な事業にまで手を挙げる必要はなく、結果として市の持ち出しが発生している点も指摘をする。こうしたことから、決算の認定には反対である。

賛成討論

市民の生命・くらしを守りながら、大型事業を着実に進めたバランスの取れた決算である。当初予算では財政調整基金及び減債基金を合わせて 10 億 5 千万円の繰り入れを予定していたが、両基金を取り崩すことなく決算を行う



予算決算委員会

など、努力の跡がうかがえる。今後も行財政改革を一層進めていただくことを期待して、決算の認定に賛成する。

総務環境委員会（9 月 17 日）

委員長 東城 源

議案第 59 号
令和 6 年度交付金永明地区 2 級 26 号線交差点改良工事（債務負担）の変更請負契約について

賛成多数
可決

この議案は、永明地区 2 級 26 号交差点改良工事の変更請負契約について、契約内容の一部を変更したため議会の議決を求めるもの。

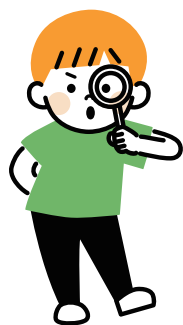
契約金額の増加額、389 万 4 千円。

反対討論

この労務費増額分が、しっかり労務者に反映されるかを見極めてからでも遅くはないと思われるので、否決すべき。

賛成討論

国土交通省の定める労務単価を運用して請負金額の差額を算出し請求している。下請け業者、労務者に増額分がきちんと反映されることを要望し、可決すべき。



市道廃止の現地調査（湖東笹原地籍）

経済建設委員会（9月18日）

委員長 佐々木 美智子

議案第60号

市道路線の廃止について

（湖東笹原地籍）

全会一致で可決

議案第60号は、道路法第10条第3項の規定により、使われていない市道を廃止し、隣接する土地所有者に払い下げるため、議会の議決を求めるもの。

福祉教育委員会（9月18日）

委員長 木村 明美

請願2

女子差別撤廃条約選択議

定書の批准に向けた速やかな検討を求める請願

全会一致で採択

委員会での意見

○日本はジェンダーギャップ指数が146か国中118位ということなので、先進国の仲間入りになっていない。後進国の仲間入りになる危機感を感じる。直ぐに批准する必要がある。

○請願者の意見書案の文面については、若干修正を加えさせていただいたものを提出すれば採択。

○不採択にする理由が見つからないので採択。

陳情8

政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充しすべてのケア労働者の賃上げや人員増を求める陳情書

少数賛成により不採択

委員会での意見

○全てのケア労働者の賃金が低くて、なかなか人材が集まらないので、人員増ができるよう賃上げをしていただきたいと思うので採択。

○国の方でも検討が進められている中、

全額公費で賄うというようなことを採択し、意見書を出していくタイミングが少し時期的に違うと思うので不採択。

○地方議会の議員も、国の動向を気にしながら議論を進めなければならぬ立場である。国で検討の最中であるので不採択。

○請願陳情については、茅野市民にとってどういう影響があるのかが一番重要なところであるが、市側への聞き取りの中で、人員不足に陥っている施設は今のところはない。また、しっかりとした体制で運営をされているとのことなので不採択。

陳情9

「現行の健康保険証の存続を求める意見書」の提出を求める陳情書

少数賛成により不採択

委員会での意見

○お年寄りが手続きをするのに時間がかかったり、やり方がわからないことがあって、医療機関の対応がどんどん大変になっている。現在の健康保険証を存続して使えば、ほぼ何の問題もないので採択。

○本陳情に述べられている内容として、トラブルが生じていることと等が書かれているものの、制度の移行期間中にはトラブルは

議会用語解説

決算認定

議会が、一会計年度の歳入歳出予算の執行の実績である決算について、その内容を審査した上で、収入・支出が適法かつ正当に行われたかどうかを確認することをいう。

出典 株式会社ぎょうせい

「地方議会運営辞典－第2次改訂版－」

起るものと認識している。存続は移行期間中の対応策の1つと考えることはできるが、根本的なトラブルの解決には結びつくものではないと考えるので不採択。

○国の方で変更する手続きが進んでいる。茅野市の条例においても既にいくつの変更にされている中で、これをまた元に戻すとすると、市側も混乱することが予想されるので不採択。

○いかに使いやすいようにしていくかを求めていくべきと考える。やみくもに「保険証を廃止するのはやめよう」ということではないと思うので不採択。

○昨年の9月に同じ陳情が出ていて不採択となっている。1年経って全く同じものが出てきているので不採択。

議会トピックス

泉野小学校 6 年生 茅野市議会訪問

7月19日（金）、泉野小学校の6年生20名が茅野市議会を訪れ、議会の仕組みや役割を学習しました。そのあと議場に移動し、実際に議会を開きました。

木村明美議員から議会の説明を受ける



↑後日、生徒のみなさんから、お礼の寄せ書きが届きました。

泉野小こども議会開催！



9月定例会 請願・陳情・議員提出議案 採決結果

	表 題	趣 旨	提出者	採決結果	
				委員会	本会議
請願 2	女子差別撤廃条約選択議定書の批准に向けた速やかな検討を求める請願	女子差別撤廃条約選択議定書の批准に向けた速やかな検討を行うよう強く要請する国宛ての意見書を提出することを求める。	ちの男女共生ネット ほか 2 団体 紹介議員 佐々木美智子	採択	採択
陳情 8	政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充しすべてのケア労働者の賃上げや人員増を求める陳情書	医療や介護現場で働くすべてのケア労働者の賃上げと人員配置増につなげるよう、政府の責任において、全額公費による追加の賃上げ支援策を実行することを意見書として政府関係機関に提出することを求める。	長野県医療労働組合 連合会	不採択	不採択
陳情 9	「現行の健康保険証の存続を求める意見書」の提出を求める陳情書	「現行の健康保険証の存続を求める意見書」を国及び政府に提出することを求める	長野県保険医協会	不採択	不採択
議員提出議案第3号	意見書案の提出について（女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める）	国に対し、我が国の司法制度や立法政策との関連課題等が早急に解決されるよう環境整備を進め、女性差別撤廃条約選択議定書を速やかに批准するよう意見書として政府関係機関に提出する。	木村明美議員 向山平和議員 梯 泰弘議員 机 博文議員 小尾一郎議員 長田近夫議員	可決	

茅野市の課題を問う！

9月定例会一般質問通告一覧①

一般質問における実際のやりとり、市側の答弁については、記載のQRコードから動画でご覧いただけます。

件 名		小項目・動画 QR コード	
佐々木 美智子	1	AI 乗合オンデマンド交通「のらざあ」のこれからの展開	(1) 承認された内容について (2) 利用対象者の想定について (3) 実施されるまでのスケジュールについて
	2	これからのまちづくりに必要なこと	(1) ハヶ岳の豊かな自然環境を活かした安全安心かつ便利で快適な暮らしの整備について (2) 成長産業に関連した付加価値の高い雇用の創出と新規ビジネスの起業・創業の支援について (3) 地域経済の活性化に向けた取組について
両角 直樹	3	行財政改革の進め方について	(1) 令和6年度の行財政改革の現状について (2) 歳入を増やす施策の検討状況について (3) 使用料等の改定の考え方・進め方について (4) 市民と市民以外の区分を撤廃する明確な根拠について (5) 市営駐車場使用料の見直しについて
洪澤 務	4	茅野市における手話を使用する聴覚障害者の現状と環境について	(1) 聴覚障害者（手話使用者を含む）の現状について (2) 茅野市における手話の現状について (3) 茅野市手話言語条例制定について
竹内 巧	5	3年目を迎える「のらざあ」の今後について	(1) 「のらざあ」が抱える課題について (2) 運行形態の抜本的な見直しの必要性について (3) 7月1日開催の新地域公共交通検討会議での協議事項の提案手法は、今後のスタンダードとなりますか
小尾 一郎	6	市の目指す教育を実現するために市にできることは何か	(1) 茅野市の目指す教育とはどのようなものか。 (2) 目指す教育の実現のために、市がしなければならないことは何か、市にできることは何か (3) 教員の人事権と人事管理とはどのようなものか (4) 教員の人事面で、目指す教育の実現のために、市がしなければならないことは何か、市にできることは何か
両角 実晃	7	子どものスポーツ振興について	(1) 中学校の部活動の地域移行への取組について (2) 茅野市スポーツ少年団の取組について
	8	茅野市における少子化の動向とその対策について	(1) 人口の動向について、自然増減及び社会増減の観点からどのように分析しているか (2) 出生数の推移とその要因をどのように分析しているか (3) 少子化の取組について今後どのように考えているか
野沢 明夫	9	縄文のまちづくりのその後について	(1) 縄文科学習の状況 (2) 縄文文化賞の応募状況を含めた今後の展開 (3) 縄文ポロシャツの導入経過と今後 (4) 縄文まつりの予定 (5) 縄文プロジェクトの見直し
	10	中学校における運動部活動の地域移行について	(1) 市内の部活動の指導の実態調査の結果 (2) 地域移行に関するアンケート結果 (3) 中体連の全国大会規模縮小の影響 (4) 今後の取組
伊藤 勝	11	高校再編について	(1) 2年前の説明からどのような協議がされたのか (2) 市として今後の考え方は
	12	ふるさと納税について	(1) ポータルサイト増によってのメリット、デメリットは (2) 返礼品の開発は (3) 返礼品業者との連携は

9月定例会一般質問通告一覧 ②

	件 名	小項目・動画 QR コード	
梯 泰弘	13 活力と魅力があふれる稼げるまちの実現に向けたシティプロモーションについて	(1) シティプロモーションの取組及び成果について (2) 核となる茅野市の魅力及びターゲットについて (3) 他市町村や関係団体との連携について (4) エリアプロモーションについて (5) インバウンドに向けたプロモーションについて (6) 今後の展開について	
木村 明美	14 小中一貫教育について	 (1) 小中一貫教育の取組について (2) 小中一貫教育の方向性について	
	15 千駄刈自然学校について	(1) 市の管理運営の経緯について (2) 施設運営状況について (3) 廃止の方向における委託業者との協議について (4) 今後のスケジュールについて	
東城 源	16 市内 9 小学校の今後のあり方について	(1) 市内小学校のあり方の基本は (2) 小学校再編決定のプロセスは (3) 再編後の小学校施設について (4) 再編後のまちづくりについて	
机 博文	17 都市宣言の現状について	 (1) 各都市宣言の現状の考えと推進状況について (2) 都市宣言と市民との関わりについて (3) 生涯学習都市宣言に関連した生涯学習の進め方について	
	18 農業地域計画策定の進捗状況について	(1) 10 年先を見据えた地域ごとの策定状況について (2) 計画策定における地域課題等について (3) 担い手減少に向けた対策について	
向山 平和	19 健康寿命について	(1) 長野県の健康長寿の要因として挙げられている 4 項目の茅野市の状況について (2) スポーツなど健康づくりの状況は (3) 塩分摂取量が全国でも多い県ということですが影響は出ていますか (4) 特定健診受診率が 6 割弱ということですが、何もしていない方との違いはあるのでしょうか (5) 特定健診に前立腺がんの検査を加えることについて	
木村 かほり	20 公共施設再編、特に学校再編の進め方について	 (1) 学校再編のスケジュールについて (2) 学校再編の今後予想される取組について (3) 公共施設再編のこれまでの経緯について (4) 公共施設再編の決定までの流れについて (5) 市民への情報共有の方法について	
望月 克治	21 スワコエイトピークスミドルトライアスロンについて	(1) 交通規制の時間短縮は実現しましたか (2) 渋滞緩和の案内看板設置は効果を発揮しましたか (3) 反省を活かした対応の結果、苦情は減りましたか	
	22 デジタル田園健康特区の現状と今後について	(1) 5 月 29 日に開かれた「国家戦略特別区域会議 合同会議」では高い評価を受けているようですが、一方で新規の特例活用事業は 0 件とされています。今後の見込みはどうなりますか (2) デジタル田園健康特区をともに進める 3 自治体での取組の健康保険の被保険者番号について、取扱いの解釈が明確化された、とはどういうものですか (3) 上記会議での市長の発言に関連し、現状でテーブルに乗っているものはありますか	
	23 行財政改革を市民とともに進める手法について	(1) 各検討会議等で市が示している資料はどのようなものですか (2) 参加者からの資料の追加の提案などはありますか (3) 財政について、市民は触れる機会も少なく、理解が難しいと考えます。情報提供の方法に工夫はされていますか	

検索!
Check!

議場で行われる本会議は、ビーナチャンネルとインターネットでご視聴いただけます。

詳しくは議会ホームページをご確認ください。

茅野市議会

検索

録画映像
QRコード



議会活性化に向けた市民アンケート 集計結果

このアンケートは、今後の議会活性化に向けて、議会に対する市民の意識や意見を聞き取り、議会活動に関する現状の把握、新たな方策の実施等を策定する基礎資料とすることを目的に実施をしました。

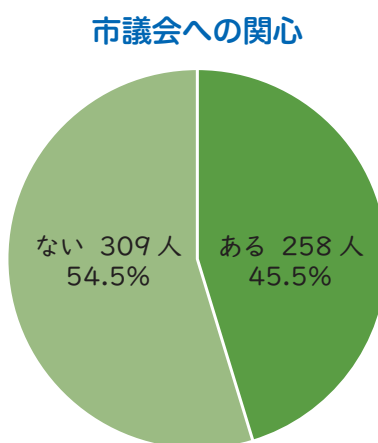
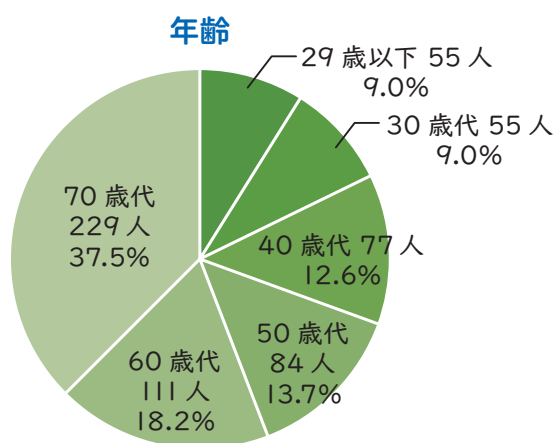
- 実施期間：令和6年6月19日(水)～7月15日(月)
- 対象者：平成19年(2007年)4月1日以前にお生まれの方の中から、無作為抽出による市民2,000人。
- 配布数：2,000通、回収数：613件(郵送：443件／WEB：170件)、回収率：30.7%

アンケートの結果(抜粋)

全てのアンケート結果は、茅野市議会ホームページでご覧いただけます。

茅野市議会

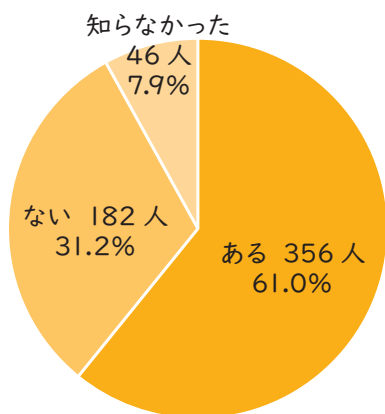
検索



市議会への関心がない理由(記載があったもの)

関心や興味がない	18人
分からない	13人
不都合がない	5人
期待できない	5人
情報がない	4人
その他	14人

「議会だより」を読んだことがあるか

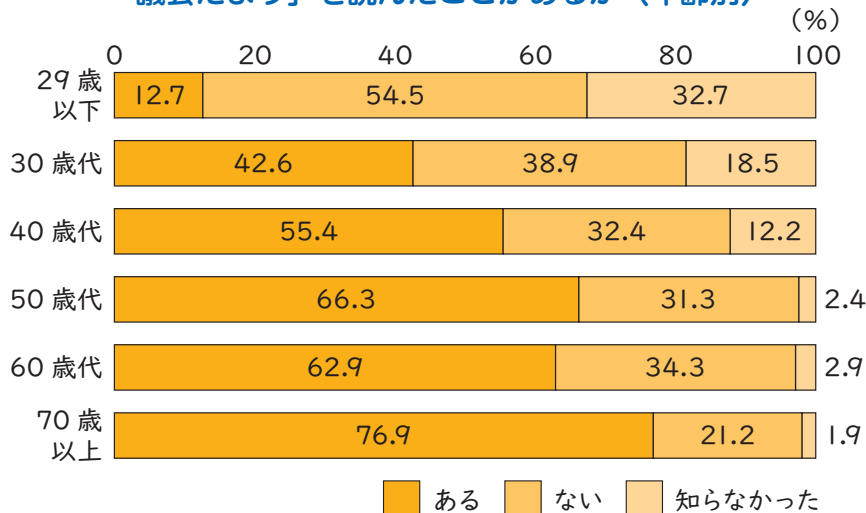


「議会だより」についての意見

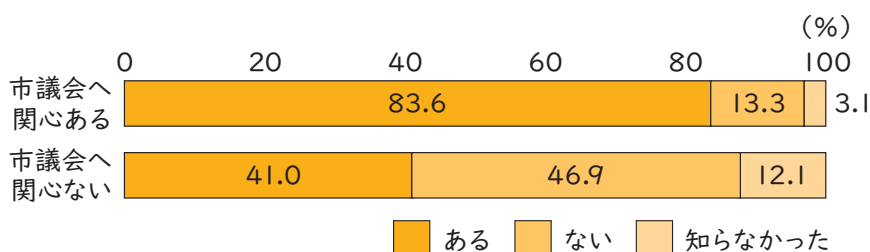
分かりにくい・改善を求む	18人
良い・関心がある・応援しています	13人
関心が持てない	5人
配布されない	5人
議事の経過や成果を知りたい	4人
読んだことがない	14人
その他、広報誌以外への意見	4人
特になし	20人

「議会だより」について

「議会だより」を読んだことがあるか(年齢別)



議会へ関心があるか × 「議会だより」を読んだことがあるか



市議会議員の定数（18人）について

参考

岡谷市：18人
諏訪市：15人

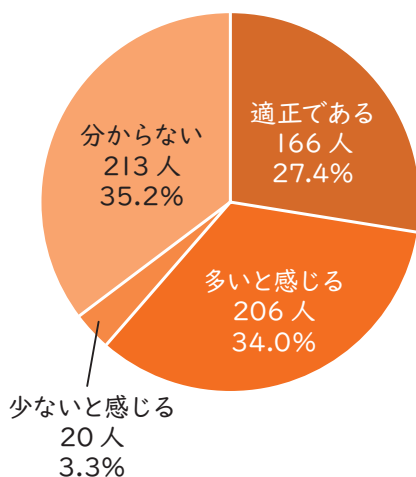
定数についての回答理由（記載があったもの）

適正である	63人
茅野市の規模にあっている	22人
他市との比較	17人
現状でよい	11人
その他	13人

分からない	47人
判断基準がわからない	10人
議員の仕事内容を知らない	12人
行政区に1人は欲しい	3人
議員の力量による	3人
その他	11人
分からない・なし	8人

多いと感じる	113人
人数に応じた成果を感じない	25人
財政に応じた定数	18人
選挙の影響を高める	15人
他市との比較	11人
人口減少に向けて	7人
各地区の代表程度の人数	6人
その他	31人

少ないと感じる	16人
議会の効果を高めるため	9人
各地区から議員を出せる	2人
茅野市の規模に応じて	2人
他市との比較	1人
その他	2人



市議会議員の月額報酬について

茅野市：月額 332,000 円

報酬についての回答理由（記載があったもの）

参考

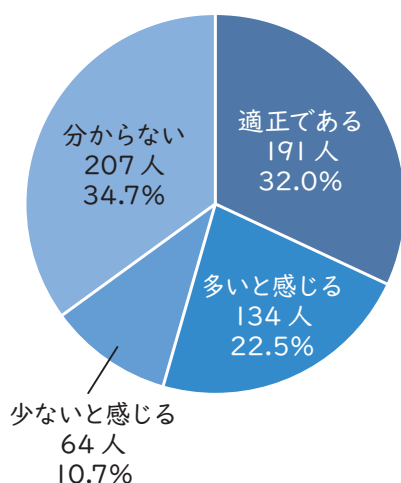
岡谷市：353,000 円
諏訪市：349,000 円

適正である	64人
他の自治体と比較して	19人
妥当だと思う	13人
他の給与と比較	6人
特に理由なし	5人
財政状況に応じて	6人
議員になる人の確保	4人
報酬に見合う仕事を望んで	3人
定数を削減し報酬は維持	2人
その他	6人

少ないと感じる	45人
他自治体との比較して	17人
職責と比較して	15人
議員人材確保のため	8人
その他の労働報酬と比較して	3人
その他	2人

多いと感じる	72人
職務内容や成果が分からない	22人
一般の労働報酬と比較	22人
税負担や市の財政を考えて	6人
議員は低報酬であるべき	5人
予想より多かった	4人
他の自治体と比較して	2人
その他	11人

分からない	67人
職務内容や成果が分からない	21人
議員の働きに応じて	14人
報酬の評価基準が分からない	8人
市財政と比較して	6人
他の自治体と比較して	2人
その他	16人



アンケートにご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



令和6年9月定例会 賛否が分かれた議決結果

○…賛成 ●…反対 ※議長は採決には加わりません。

番 号	件 名	議決結果	両 角 直 樹	梯 泰 弘	向 山 平 和	佐 々 木 美 智 子	洪 澤 務	木 村 明 美	竹 内 巧	木 村 か ほ り	両 角 実 晃	東 城 源	机 博 文	小 尾 一 郎	樋 口 敏 之	野 沢 明 夫	伊 藤 勝	望 月 克 治	長 田 近 夫
市長提出議案	59 令和6年度交付金永明地区2級26号線交差点改良工事（債務負担）の変更請負契約について	賛成多数により可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
	69 令和5年度茅野市一般会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数により認定	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○
陳情	8 政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充しすべてのケア労働者の賃上げや人員増を求める陳情書	賛成少数により不採択	●	●	○	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●	○	○	○	●
	9 「現行の健康保険証の存続を求める意見書」の提出を求める陳情書	賛成少数により不採択	●	●	○	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	○	○	○	●

市民のみなさまにお願い

議員の寄附行為禁止について

公職選挙法により、選挙区内における寄附行為が禁止されています。

- 政治家に対する寄附の勧誘・要求の禁止
- 政治家の関係会社等が行う寄附の禁止
- 政治家の後援団体が行う寄附の禁止
- 政治家からの年賀状等、あいさつ状の禁止（答礼のための自筆を除く）
- 政治家からのあいさつを目的とする有料広告の禁止

贈らない！ もらわない！ 求めない！

区、自治会や各種団体等での行事や催事へ議員をご案内いただく際は、必要経費分としての会費を明示してご案内いただきますようお願いいたします。

みなさんもぜひ傍聴にお越しください！



市議会の本会議及び各常任委員会とはなたでも傍聴ができます。予約の必要はありません。

本会議の傍聴を希望される方は、直接議会棟3階までお越しください。事務局への連絡は不要です。

なお、委員会の傍聴をご希望の方は、事前に議会事務局までご連絡ください。

12月定例会本会議予定

- 11月29日（金） 開会、提案説明、先議案件採決
- 12月6日（金） 議案質疑、委員会付託
- 12月10日（火） 一般質問
- 12月11日（水） 一般質問
- 12月12日（木） 一般質問
- 12月20日（金） 委員長報告、採決、閉会

※変更される可能性もあります。
詳しくは議会ホームページでご確認ください。



ちの市議会だより第52号は、令和7年3月1日発行予定です。

総務環境委員会行政視察報告、議会報告・意見交換会、令和6年12月定例会 他